

- ・ 総務省では、これまでテレワークの導入・活用について特色ある優れた取組を行っている企業・団体を「テレワークトップランナー」として選定・公表（特に優れた企業・団体には総務大臣賞を授与）
- ・ 今年度は、（一社）日本テレワーク協会と連携し、これまでのテレワーク推進の取組を発展させ、AIやデジタル技術、通信ネットワーク等を活用し、働き方の再設計（ワークデザイン）を進めるとともに、経営効果の創出につなげている先進的な企業・団体を「ワークデザインAX/DX大賞2026」として表彰する。
- ・ 特に、現場業務における働き方変革に着目し、その優れた実践を全国に発信することで、誰もが能力を発揮できる社会の実現を目指す

令和8年度募集期間 8月3日(月)～9月30日(水)

<審査項目>

1. AX/DXの先進性・独創性

AIやデジタル技術等の活用により、業務プロセスや組織運営をどう変革しているか

2. 働き手のWell-being向上

従業員の作業負荷軽減や、働きやすさや満足度の向上に寄与しているか

3. ワークデザインによる人材の活躍と就労機会の拡大

場所や時間の制約を超え、個々の能力や経験を十分に発揮できる柔軟な働き方や就労機会の創出につながっているか

4. 現場への実装性・組織浸透性

現場業務を担う従業員も含めて活用され、組織全体の継続的な変革に寄与しているか

5. 地域や業種への波及性・将来性

地域や同業種・異業種への展開可能性があり、他の企業や団体の参考となりうるか

<デジタル社会の実現に向けた重点計画2026 重点施策>

テレワークの推進

【取組概要】

～前略～

令和8年度からは集中的な実施期間を設けず、民間団体の大規模イベントや地方でのセミナーなどの場を随時活用し、政府を含む多様な主体により、好事例の発信等の周知啓発を行う。また、地域社会DXの推進と働き方改革とを一体的に進め、現場性の強い業務のテレワーク事例の発信を強化する。

～後略～

<受賞団体には>

- I ロゴマークの付与
- II 取組事例集を作成し、総務省HP等に掲載
- III 令和9年1月開催予定の表彰式での表彰状授与、取組事例発表
- IV 総務省HPや各種セミナー等での取組内容の発信

(参考) 昨年のJTAアニュアルカンファレンス2025の様子

